東日本一周(したかった)旅行

３年 宮ウラ

0. はじめに

みなさんこんにちは。今年もキュンパスで旅をしてました。私は去年リゾートしらかみに乗りに行きたいと言っていたことを覚えている方はいらっしゃるでしょうか(鉄路 12 号参照)。インフルエンザで寝込んでいた 11 月、私は時刻表を眺めながらプランを作っていました。私が使っている時刻表は季刊なので、秋号を使っていた当時キュンパスシーズンの臨時列車の記載はありませんでした。ですので行く日に走るだろうという想定の元作っていたのですが、少し月日が流れてから JR 東日本のホームページにあるリゾートしらかみのページの運転日カレンダーを見てみると、なんと走らないようです(閑散期の水曜日に観光列車を走らせてる方が怖いので当然なんですが)。そして別のルートを考え実行したのが今回の旅行です。それではお楽しみください。

1.1 日目

1.常磐線 普通 上野東京ライン直通品川行き 荒川沖 5:28→上野 6:27

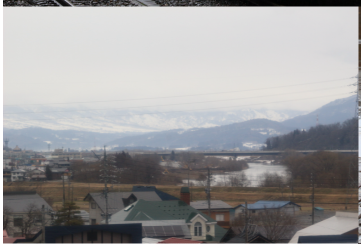
もはや恒例の始発列車です。県立入試の採点の日なので某夢の国に向かうであろう高校生の姿が多数見受けられました。それとは別に 6 時くらいから通勤ラッシュが始まっているこの国が怖いです。

2.北陸新幹線 特別急行 はくたか 551 号金沢行き 上野 6:34→長野 8:03

私ほどのレベルになると上野 7 分乗換でも入線を撮れるほどの余裕があります。コツは 6 号車に乗って階段を下り、中央改札に出るルートです。今回も W7 系に乗車です。通勤新幹線としての需要が大きいのか、大宮で大量に乗ってきて高崎で少し降り長野でかなりの人が降りて行きました。北陸新幹線沿線長野までにはあまり雪がなく、軽井沢付近で積もらない雪が降っていたくらいでした。

3.飯山線 普通 戸狩野沢温泉行き 長野 8:37→飯山 9:25

長野駅で朝食のそばを食べた後、飯山線で飯山に移動します。別に新幹線に乗って行っても良かったのですが、駅での滞在時間と収録時間の差があまりないので乗り潰しも兼ねて在来線で行きました。8 時台に長野駅を出る列車が少ないからか多くの人が乗っていましたが、途中の三才でほとんど降りて行きました。この時間で学生の人は間に合うのかな。それにしても「とがりのざわおんせん」は個人的に声に出して読みたい駅名上位にランクインしてきますね。現時点でのトップ５は「くりこま高原(くりこまこうげん)」、「玉造温泉(たまつくりおんせん)」、「新線新宿(しんせんしんじゅく)」、「京王多摩センター(けいおうたませんたー)」「新鳥栖(しんとす)」です。



飯山に近づくにつれ雪が増え、手前は雪がないのに奥に雪がある不思議な景色が見れました(写真左)。また、飯山駅前には融雪用スプリンクラーがありました(写真右)。ここからスキー場に行く人が多く、先ほどのスプリンクラーや多言語対応の自動バス券売機があり、設備をフル活用して円滑に運行していました。 ただ鉄道の自動券売機はもっとあってほしい(長蛇の列ができていました)。

4.北陸新幹線 特別急行 はくたか 555 号金沢行き 飯山 10:28→上越妙高 10:39

キュンパス最大の利点である自由席乗り放題を使って一駅移動です。在来線で行こうとすると豊野まで戻って乗り換えて妙高高原経由にする必要があるのでとてもありがたいですね。運賃もかからないし。上越妙高では発車メロディー「夏は来ぬ」を収録。飯山の「ふるさと」、上越妙高の「夏は来ぬ」、糸魚川の「春よ来い」と童謡が連続する区間ですね。全て作曲者の出身地という理由で採用されています。上越妙高では昼食としてカツ丼を食べました。新潟県ではほとんどの場合、カツ丼といえばソースカツ丼を指します。また他地域と差別化を図るために呼び方はタレかつ丼となることが多く、とんかつソースではなく醤油ベースのサラサラしたたれを使うのが特徴です。甘辛い味付けで美味しいので新潟に行ったらぜひ食べてみてください。

5.えちごトキめき鉄道 妙高はねうまライン 普通 直江津行き 上越妙高 12:41→直江津 12:57(+3)

キュンパスで乗れる三セクの一つであるえちごトキめき鉄道で直江津に向かいます。付近の高校の早帰りの時間と重なったようで、南高田と高田で大量に高校生が乗ってきました。3 ドアオールロングの ET127 系でも 2 両では厳しく、遅延が発生しさらに積み残しもありました。直江津は妙高はねうまライン、日本海ひすいライン、信越本線とそれに直通する北越急行ほくほく線が乗り入れるターミナルで、多くの車両が見れて楽しかったです。特に北越急行の車両は電車で GO!で見る機会が多かったので見れて嬉しかったです。

6.信越本線 特別急行 しらゆき 3 号 新潟行き 直江津 13:25→長岡 14:15

直江津からは特急しらゆきに乗車。上沼垂(かみぬったり)色が来ました。白黒だと非常にわかりにくいのですが、下から青緑、青、白の配色になっています。かつて上沼垂運転区(現新潟車両センター)に在籍していた 485 系に施されていた塗装を E653 系で再現したもので、485 系時代の新潟地区に馴染みがあった自分にとっては懐かしい塗装です。リニューアル車がすごい好きだったんですよねぇ。クラシックの車内チャイムも好きなので記憶がもっとあれば…。115 系、キハ 40/48 の再現もないかなー。

7.上越新幹線 特別急行 とき 321 号 長岡 14:20→新潟 14:42

写真がありませんでした。なぜかしらゆきだけだとこの後の列車に間に合わなかったので新幹線利用です。

8.白新線・羽越本線 特別急行 いなほ 7 号 秋田行き 新潟 14:50→秋田 18:30

新潟からいなほに乗車。カラーバリエーションの多い E653 系ですが、今回は一面はまなす色に塗られたはまなす編成~~(通称:紫芋)~~でした。個人的にいなほ通常塗装~~(通称:フルーツオレ)~~が好きなのでそっちがよかったです。フレッシュひたちの 5 色、いなほはこれらに加え一面青の瑠璃編成~~(通称:海坊主)~~の 3 色、しらゆき向け 2 色、国鉄特急色、水色フレッシュひたち、執筆当時発表された 583 系塗装と 13 色の布陣になりました。個人的にいなほはかなり景色の良い列車だと思っていて、秋の時期は新潟～村上間や鶴岡付近では、愛称の由来になった一面に広がる黄金色の稲穂が見れたり、冬の荒れ狂う日本海や、同じ時期に見るのは難しいですが夕方には美しい夕焼けを見ることができます。また、村上～小波渡間には波によって侵食された奇岩群が広がる笹川流れが広がり、その後雄大な鳥海山や象潟付近では鳥海山の山体崩壊によってできた多島海が地震によって隆起した独特の地形、羽後本荘の風力発電などさまざまな車窓を楽しめます。特に象潟は田園風景の中に島が浮かんでいるような不思議な景色です。地面が隆起するとすぐに人々は島を破壊し平地にして稲作を始めるという日本人の農耕の DNA の強さを垣間見ることができるエピソードもおもしろいです。いろいろな景色を楽しめる

ので鉄道好きな方々もそうでない方も楽しめる列車だと思います。それだけでなく村上～間島間のデッドセクション(交流と直流が切り替わる場所)で電気が消えるというのも今では数少ない物なので、体験してみるのもおすすめです。自分も幼少期からよく乗ってますが飽きない列車です。秋田に着いた後は大曲に移動し、発車メロディーの収録と付近のお店できりたんぽ鍋を食べました。本来は秋田県北部の食べ物なので、南部の大仙市大曲で食べるのは変ですがまぁいいでしょう。有名になったので県内全域に広がったみたいですし。その後秋田への列車に時間があったので、電車で GO!シリーズの奥羽本線、田沢湖線で多くの人がこまちで突っ込んだ~~秋葉検定で~~有名な車止めを観察し、秋田に帰り、発車メロディーの「明日はきっといい日になる」に明日の無事を願って就寝。

2.2 日目

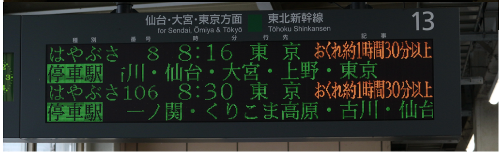
9.奥羽本線 特別急行 こまち 6 号東京行き 秋田 6:10→大曲 6:39

おはようございます。1 本後の普通列車でもいいのですが、特に理由もなく大曲に行きます。朝ごはんは車内で秋田名物の鶏めし弁当を食べました。大館に本店があり、2 年前は 1000 円を切っていたのですが、物価高の影響で 1000 円を超えてしまいました。秋田～大曲では座席が逆になるので不思議な感覚でした。また、この区間は複線かと思いきや単線並列(違う路線が並んでいる状態)なので、途中で普通列車を抜かすこともあります。今回も新庄行きの GV-E400 を抜いて行きました。この車両の電笛好きなんですよね。

10.奥羽本線 普通 横手行き 大曲 7:35→横手 7:54

ここからは普通列車で横手へ。前面の帯がかなり剥がれてしまっていますね。今回は 100 番台がきました。この車両は秋田地区、仙台地区の増備車で、秋田地区には 4 本在籍しており、秋田地区は後部標識灯の位置で 0 番台と判別できます。ここで今日乗る予定の路線を見てみると…山田線が大雪で運転見合わせ、東北新幹線が倒木による停電で運転見合わせ・遅延と散々な状況でした。とりあえず次の列車で移動するときにこの後の行程を考えましょう。

11.北上線 普通 北上行き 横手 8:09→北上 9:27

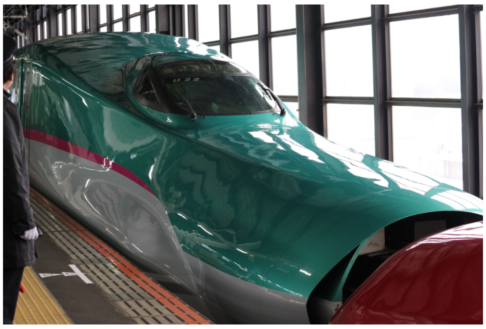


北上線で奥羽山脈を横断し太平洋側へ向かいます。やはり奥羽山脈の雪はすごいもので、この旅行の中で一番積雪量が多かったです。乗ってみた感想としては…「よくこんなところに鉄道敷こうと思ったなでした」。。錦秋湖の景色を期待したのですが、雪が降っておりあまり見えませんでした。北上線といえば、通過駅が一つしかない快速(写真左中)が有名ですね。かつては小松川だけでなく、平石と矢美津も通過していたのですが、その 2 駅が廃止になったため、結果的に通過駅が一駅になってしまいました。小松川駅も先はあまり長くないかもしれません。北上に到着し、新幹線で盛岡に行こうと思ったのですが、上りは左下の写真の通り 1 時間 30 分以上の遅れ、下りも 2 時間 30 分の遅れでどうしようもない状況でした。そういえば、はやぶさ 8 号に 108 号のきっぷで乗れるのか聞かれ、咄嗟にできないと言ってしまったのですが、盛岡～仙台間に臨時停車していたので特例で乗れましたね。あの時の方、すみませんでした。

12.東北本線　普通　盛岡行き　北上 10:06→盛岡 10:55

とりあえず新幹線があてにならないので、新幹線上りの発車メロディーを収録してから普通列車で盛岡へ。これで東北本線の未乗区間は福島～岩沼と利府支線になりました新幹線が動いていないせいか、花巻から先の車内はかなり混んでいました。盛岡都市圏の利用者は割と多く、水戸と同等かそれ以上に感じました。ここから先は盛岡到着後に決めます。

13.東北新幹線　特別急行　はやぶさ 1 号　新函館北斗行き　盛岡 8:50(+150)→二戸 9:09(+150)



運良くちょうど遅れまくった関東民御用達のはやぶさ 1 号に乗れたので二戸へ。このシーズンは毎年ですが、指定席が取れず、立ち席までいるほどの混雑度のはやぶさに座れるはずもなく、立ちで移動しました。立ち席の人もいるこの列車で 2 時間半の遅延は行程だけでなく体力的にも厳しそうですね…余談ですが、先発のこまち号発車の時に動画を回していたら「ダイジョウブ」が 2 コーラス流れ、うち 1 コーラスは無被りでした。

14.IGR いわて銀河鉄道　普通　盛岡行き　二戸 12:08→好摩 12:53

盛岡から直接好摩に行ってもよかったのですが、二戸からの IGR の未乗車区間を減らすために IGR で向かいます。これで残りは盛岡～好摩です。IGR では珍しく車掌さんが乗務されていました。ツーマンの列車あるんですね。ワンマン放送の車内チャイムが聞きたかったので少し残念です。青い森鉄道にはないので新鮮でした。車両は沿線の滝沢市とのコラボラッピングで、盛岡方(写真左上)には IGR いわて銀河鉄道のキャラクター、「ぎんがくんときらりちゃん」が描かれ、金田一温泉方(写真左下)には滝沢市のキャラクター、「ちゃぐぽん」が描かれています。名前の由来はチャグチャグ馬コで、滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡八幡宮まで 60 頭の馬が更新する伝統行事です。余談ですが、二戸で列車を待っている間に聞いた二戸市 12:00 の防災無線チャイムの TOA 新音源「野ばら」がいい曲すぎて痺れました。防災無線の曲って「恋は水色」とか「エーデルワイス」、「夕焼け小焼け」、「ふるさと」など、原曲もアレンジも素晴らしい曲が多いので聞いてみるのがオススメです。個人的には「ふる里みなかみ」が好きです。

15.花輪線　普通　大館行き　好摩 13:00→大館 15:25

好摩で下車した時点で察した人もいるでしょう。花輪線を完乗します。花輪線もまた北上線と同じく奥羽山脈を横断する路線で雪が多かったです。車窓を見ていておもしろいなと思ったのは、安比高原駅の向かいに赤色の立派な建物があり、ホテルかなと思い調べるとまさかのインターナショナルスクールでした。イギリスの名門校のようですが、なぜここに作ったんでしょうか。駅が近づくにつれ民家が増え、発車すると数が減っていく。そんな景色を繰り返しながら、列車は鹿角花輪に到着。ここで乗務員交代があったのですが、なんと鹿角花輪に交代の方がいるのではなく、盛岡から便乗されてた方が鹿角花輪から先の区間を運転されていました。鹿角花輪に人を配置できないんですかね…。列車は十和田南に到着。ここはスイッチバックの駅で、

また十和田湖に一番近い駅と謳っていました(左)。しかしながらまず道路で 34km 離れており、加えて現在は公共交通機関で十和田湖に向かうことはできません。かつてはバスが出ていたようですが、現在は廃止され、東北新幹線の八戸駅、七戸十和田駅、新青森駅と青森空港・青森駅や三沢空港・三沢駅からのバスが公共交通機関でのアクセスとして残っています。その後は平野が広がり、農地が広がり民家が点在する景色が続いて大館に到着。

16.奥羽本線 普通 弘前行き 大館 15:28→弘前 16:11

接続の普通列車で弘前に向かいます。また 100 番台が来たと思い編成番号を見てみると、朝に大曲から横手に行く時に乗った時と同じ N102 編成がきました。てっきり秋田以南でピストン運行すると思ったら、北側にも来るんですね。この後弘前で接続の列車で新青森に移動しました。

17.東北新幹線 特別急行 はやぶさ 34 号 東京行き 新青森 16:38→盛岡 17:44(+6)

本来乗る予定の新幹線より早くなりましたが、特例を使い盛岡で時間調整をすることにしました。新青森ではイギリストーストを購入。青森県のご当地パンで、イギリスパンと呼ばれる上部が膨らんだ食パン 2 枚の間にグラニュー糖とマーガリンが挟んでありとても美味しいです。今回は通常のものと練乳とリンゴジャムを挟んだものを買いました。東北新幹線は通常運転でしたが、秋田新幹線に遅れがあり、ホームが埋まっていたため到着が遅れました。

18.東北新幹線 特別急行 はやぶさ 36 号 東京行き 盛岡 18:50(+7)→仙台 19:29(+6)

盛岡で在来線の HB-E220 系の撮影や発車メロディーの収録をした後、仙台に向かいます。この列車も秋田新幹線での遅れに伴う連結作業の遅れによって遅れました。写真だと分かりにくいですが H5 系でしたね。2023 年の地震で 1 編成が廃車になってしまってから、遭遇率が下がってしまいましたがみることができてよかったです。

19.東北新幹線 特別急行 やまびこ 66 号 東京行き 仙台 20:01(+5)→20:22 福島(+2)

仙台でお土産品を買っている間に時間がなくなってしまい写真がありません。このやまびこは 320km/h を出し仙台~福島で 3 分も遅れを縮めました。これは元から最高速度の高いはやぶさにはできない芸当ですね。

20.東北新幹線 特別急行 やまびこ 222 号 東京行き 福島 21:00(+2)→上野 22:42

福島で発車メロディーを収録しようと思ったのですが、新幹線の遅れでろくに録れなかったので在来線の「高原列車は行く」のみ回収。また阿武隈急行、福島交通のメロディーと合わせて来たいですね。このやまびこも 320km/h 回復運転を行いました。夕食として牛肉どまん中弁当を購入。駅弁の中で最も美味しいと名高いもので、和牛と山形オリジナル米のどまんなかの組み合わせが美味しいです。醤油ダレがノーマルですが、最近塩と味噌とカレー味も出ました。

21.常磐線 特別急行 ときわ 85 上野 23:00→荒川沖 23:42

特急で帰宅します。時間が遅すぎるじゃないかと思われた方もいるかもしれませんが、私の父がこの時間に帰ることが多いので、父親と共に乗っています。なので多分条例はセーフです。特急、楽ですよねー。いつも普通列車で帰る身からすると本当に毎回乗りたいなと思います。

3.さいごに

　いかがでしたでしょうか。今回ついに輸送障害に遭ってしまいました。去年運良く回避した反動がきてしまいましたね。本来なら北上到着後新幹線で盛岡、IGR いわて銀河鉄道で二戸、新幹線で八戸、八戸線で久慈、三陸鉄道リアス線で宮古、山田線で盛岡という予定だったのですが、見事に崩壊しました。が、それでも満足できるプランを実行できるキュンパスの偉大さに感謝です。いつかこのプランのルートで乗り潰ししたいです。今回東北ローカル線に乗ってみて、厳しい状態にあると共に、独特な景色が広がる路線をなんとか残して欲しいなと思いました。これから鉄道路線は減少していくことが予想されますが、みなさんにはそういった秘境を走る路線の雰囲気や豊かな自然が作り出す景色を体験していただきたいです。新幹線に乗り高速で移動するのもいいですが、ローカル線でのんびりと旅情を感じて移動するのも楽しいです。非日常に触れてみてはいかがでしょうか。それでは、読んでいただきありがとうございました。それでは、また会う日まで。

　場所が余ったので写真でも貼っていきます。